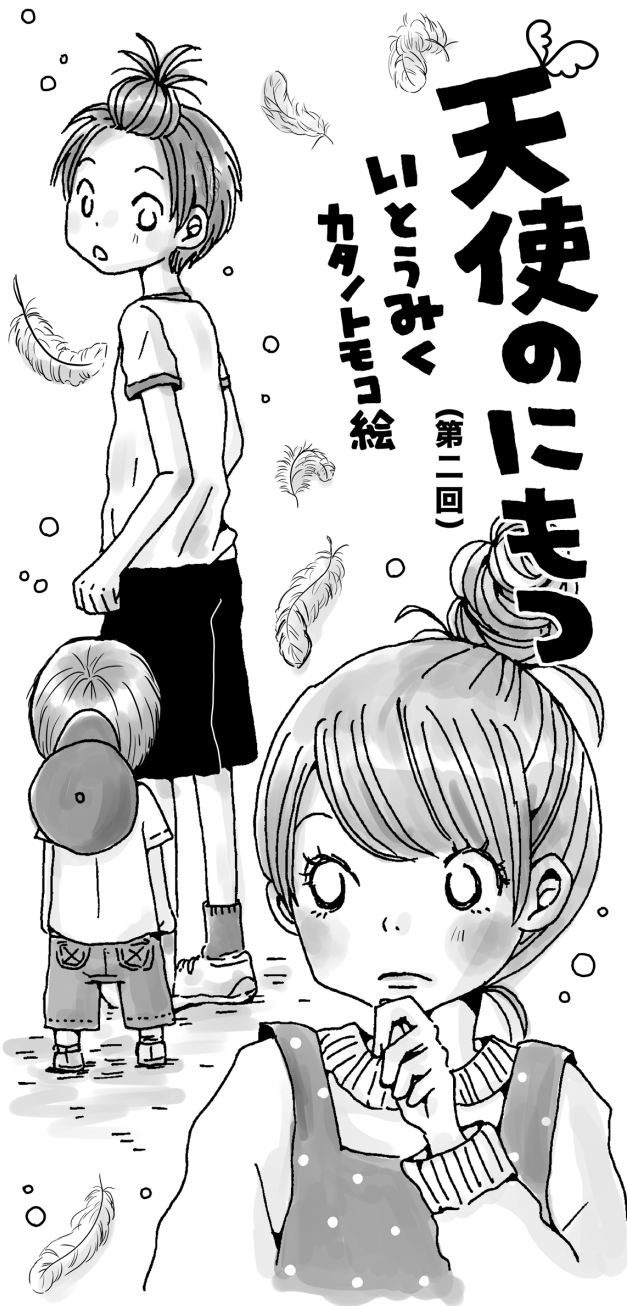


# 天使のたまご

(第二回)

いとろみく  
カタントモコ 絵



〈前号のあらすじ〉

中二の斗羽風汰は、五日間の職場体験の行き先を決めていなかった。担任に押し付けられる場所はいやだ。結局子どもたちと遊んでいればいいという安易な考えから、保育園に決めてしまう。長すぎる前髪をちょんまげにして保育園へ行った初日、イメージとの違いに風汰は驚くばかり。一方、そんな風汰に子どもたちは興味津々だ。

「おにーちゃん」

少し舌足らずな声に、つつつと視線をさげると、ござっぱりした男の子が風汰を見上げていた。泥だらけの他のチビとはちがって、服も手もきれいだ。白いシャツにはシミ一つない。

目が合うと、嬉しそうにっこり微笑む。さらさらな髪